

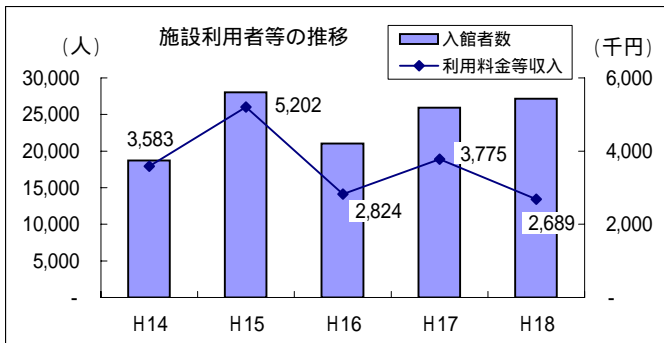
# 若狭歴史民俗資料館(1/2)

## 若狭歴史民俗資料館は若狭の魅力の玉手箱!!

所在地	小浜市遠敷2-104		
設置年月日	昭和57年10月1日		
施設の種類	博物館	施設管理主体	県
設置の目的	若狭地方の考古・歴史・民俗などの調査研究・収集・保管および展示等を行い、この地方の豊かな文化遺産の保護および県民の文化の向上に寄与することを目的とする。		
概要 (構造、面積、 主な機能)	鉄筋コンクリート2階建 延床面積 3,218.75㎡		
職員数	職員6人 非常勤嘱託2人 アルバイト2人 計10人		

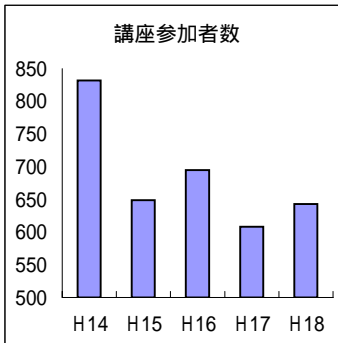
### 利用状況等

	H14	H15	H16	H17	H18
入館者数(人)	18,717	28,027	21,054	25,948	27,176
講座等参加者(人)	832	649	695	608	643



### 利用者負担(利用料金)等

入館料	常設展	大人100円
	企画展	別に定める



利用状況の推移	平成15年度は『若狭路博』に併せて特別展「若狭路千年」を開催し、観覧者が28,027人と大きく伸びました。前年度と比べると約50%の増加です。
	平成16年度には21,054人と前年度から25%減少したものの平成17年度には恐竜博物館の移動展などの開催により25,948人まで回復しました。
	平成18年度には文部省主催の「発掘された日本列島2006」巡回展と「発掘された若狭・越前」の2本立て・長期間の特別展の開催により観覧者数が27,176人となり、前年度比5%の増加となりました。

### 施設の特徴

展示品 「復元武人像と盾」

### 嶺南地方の文化財調査の拠点

嶺南地方の文化財の調査・保護・活用活動の支援を積極的に行い、地元ならびに遠方のかたの様々な質問にもお答えしています。

### 親しみを持てる館作りをめざして

職員がお客様に直接説明する機会を多く設けています。企画展はもちろん常設展でもお客様の関心にあわせて解説を日常的に行っています。他にも児童・生徒の総合体験学習の受け入れや、体験的な催しを行っています。

### いろいろな展示、講座の開催

- ・企画展  
年1度 若狭の文化的内容をテーマとして大規模な展覧会を開催します。日頃見る機会の少ない展示品を全国各地から収集して展示します。期間中、記念講演として展示内容の関連分野の研究者を招いて講座を開催します。
- ・テーマ展  
ひとつのテーマについて年に4回程度テーマ展示を開催します。
- ・郷土史講座  
若狭地方の歴史・民俗・美術工芸等に関する内容で、当館職員を中心に講師を務め、講座を実施します。
- ・体験講座  
主として小中学生を対象とした体験講座を夏休み・冬休み期間を中心に実施します。
- ・移動展  
県立の4つの博物館から持ち回りで館蔵品の展示を開催します。



火おこし体験をする子どもたち

### 平成18年度の特徴について

事業実績	企画展：巡回展「発掘された日本列島2006～新発見考古速報」 (10/7～11/5) 2,774人
	地域展「発掘された若狭・越前」(11/18～12/17) 3,160人
	テーマ展：「山川登美子の生家」(4/29～5/28)
	「若狭の伝画」(1/3～2/12)
	「お水送り - 若狭の水・ご香水 - 」(2/17～3/4)
	移動展：県立美術館「移動美術館1-人間模様トセトラ」 (8/4～8/15) 751人
	「移動美術館2-森羅万象と不思議世界」 (3/16～3/27) 875人
	県立歴史博物館「昭和の暮らし」(8/19～8/31) 1,280人
	自然保護センター「コウノトリ福井の空へ」 (9/3～10/1) 1,357人
	体験講座：小中学生向け「昭和の暮らしと遊び」 2回 一般向け「古文書解読講座」 5回

# 若狭歴史民俗資料館(2/2)

行政コスト計算書(平成18年度) (単位 千円)

		総額	構成比	前年比
人にかかるコスト	人件費	65,124	53.1%	101.9%
	退職給与引当金繰入	390	0.3%	216.7%
	計	65,514	53.5%	102.3%
物にかかるコスト	物件費	32,253	26.3%	90.3%
	維持補修費	1,760	1.4%	21.9%
	減価償却費	22,511	18.3%	100.0%
	計	56,524	46.0%	85.3%
その他	公債費(利子)	0	0.0%	0.0%
	その他	749	0.6%	51.0%
	計	749	0.6%	51.0%
合計		122,787	100.0%	93.2%
収入	利用料等収入	2,013	1.6%	103.8%
	その他収入	2,392	1.9%	31.3%
	一般財源	118,382	96.4%	96.9%

バランスシート(平成19年3月31日現在) (単位 千円)

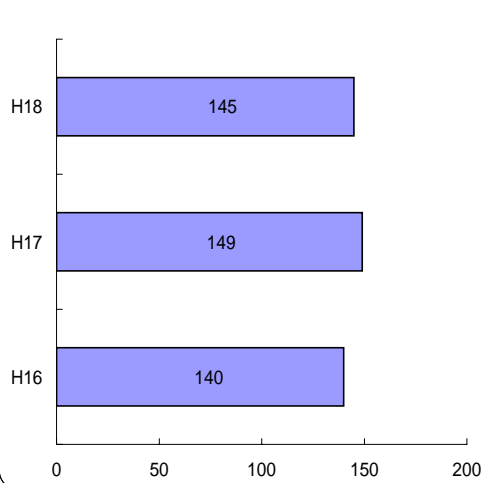
借方			貸方		
資産		前年比	負債		前年比
有形固定資産	738,382	97.0%	固定負債	47,730	100.8%
うち土地	24,893	100.0%	うち退職手当引当金	47,730	100.8%
うち建物	599,714	96.5%			
うち展示品	79,141	100.0%			
投資等	0	-	流動負債	0	0.0%
流動資産	0	-	正味資産	690,652	96.8%
計	738,382	97.0%	計	738,382	97.0%

主な指標 (単位: %、円/人)

	H18	H17	前年比
県民1人あたり有形固定資産額	902	927	97.3%
県民1人あたり将来負担額	58	58	100.5%
世代間負担率	93.5	93.8	99.7%

バランスシート、行政コスト計算書の特徴	<p>行政コストの中で最も高い割合を占めているのは人件費で53.4%となっています。</p> <p>維持補修費については、平成17年度に空冷ヒートポンプチラー取替(6,479千円)を行っているため、前年度比21.9%と大きく減少しています。</p> <p>平成18年度には、大規模な改修がなかったものの、築25年を経過するため今後は冷暖房や下水道など様々な修繕の必要性が見込まれます。</p> <p>収入の割合は、利用料等その他収入合わせても3.5%と低くなっていますが、これは、利用者の半数近くが無料対象者であることが要因であると考えられます。</p> <p>なお、将来負担となる固定負債は退職手当引当金のみですので、県民1人あたりの将来負担額は低い水準になっています。</p>
施設の目的、管理運営上、主要な事業	<p>嶺南で唯一の重要文化財承認施設として嶺南地方の文化財調査保護活動において中心的な役割を果たしています。</p> <p>管理部門：施設の維持管理、資料の保管と管理 【H19予算額：約29百万円】</p> <p>事業部門： 調査研究事業 ... 歴史・民俗・考古等の調査研究 【H19予算額：約3百万円】 企画展開催事業 ... 企画展の開催 【H19予算額：約8百万円】</p>
今後の課題	<p>歴史愛好家などの常連客や観光客の入館が中心となっているため、展示内容を充実し、新たな入館者の確保と地域住民に親しまれる館づくりが求められています。</p>
今後の事業方針 取り組み内容	<p>嶺南地域を主とした地域の歴史文化を伝えることを中心に事業を進め、県民のニーズに対応した展示等を積極的に実施していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エントランスロビーを活用し、地域の歴史文化をパネル展示します。</li> <li>・教育活動の一環として、積極的に学校からの受入れを行います。</li> <li>・体験的講座を充実します。</li> <li>・HPによる情報発信など、広域的に広報活動を行います。</li> </ul>

県民1人あたりのコスト負担の状況(円)



人口100万人あたり入館者数の比較(H18)

